

奈良県立医科大学附属図書館における Twitter による情報発信  
奈良県立医科大学附属図書館  
森 三紗

## 1. はじめに

奈良県立医科大学附属図書館（以下、当館）は、2012年6月より Twitter による情報発信を開始した。開始に至った経緯から今後の展望について報告したい。

## 2. 開始に至った経緯

当館には利用者が使用できるパソコンを26台設けている。授業で課題が出された時や、レポートの提出期限前は全てのパソコンが使用中になることも多々ある。図書館を利用したくてもパソコンが使えなく渋々帰っていく学生の姿を何度も見かけることがあった。そこでパソコンの利用状況をタイムリーに知らせることが出来れば、もっと有効的に図書館を利用してもらえないかという思いから Twitter の開始に至った。

## 3. Twitter の特徴

無料で気軽に始められることや、圧倒的知名度で利用者にもなじみ深く、大学図書館や公共図書館も多く利用していることから安全なサイトであること、そして短時間で投稿できるため業務に負担がかからないことが Twitter の特徴だと思われる。

## 4. 他大学図書館の活用状況

開始にあたり、どれだけの大学図書館が Twitter を活用しているのか調べてみた。調査方法は、Twitter のユーザー検索機能でアカウント名に図書館が含まれるものを検索し、さらにその検索結果の中から大学図書館のみを収集した。その結果、公式・非公式や試行運用中に関わらず Twitter を活用している大学図書館は63館と多いことがわかった。また、実際に活用している図書館がどういった内容をツイートしているのかも分析してみた。多数の大学図書館では開館情報・イベント案内・新着案内をツイートしていることがわかった。なかには、その日の出来事と関連する図書の紹介や、本の豆知識や修理方法といった興味深い内容をツイートしている図書館もあった。

## 5. 当館のツイート内容

他大学図書館を参考に、当館も開館情報や新着案内そしてパソコンの利用状況をツイートしている。

## 6. 今後の展望

フォロワー数を見ると利用者への周知不足がうかがえる。今後は広報手段や投稿内容を見直し、Twitter が図書館の利用率向上の一助になればと思っている。